



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 西本 實男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,812	△15.7	6	—	△133	—	△287	—
24年3月期第3四半期	16,377	31.4	△294	—	△924	—	△1,024	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 17百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,449百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△6.49	—
24年3月期第3四半期	△23.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	26,577	7,917	29.8	178.51
24年3月期	27,927	7,901	28.3	178.10

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,917百万円 24年3月期 7,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△11.0	1,000	29.1	750	175.8	450	434.4	10.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	47,178,956 株	24年3月期	47,178,956 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,824,174 株	24年3月期	2,815,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	44,359,350 株	24年3月期3Q	44,368,778 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 25年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢につきましては、米国経済は緩やかな景気回復が続きましたが、欧州経済は債務問題が継続するなど低調に推移いたしました。アジア経済は中国などを中心に成長のペースが鈍化し、持ち直しの動きがみられたわが国経済も、世界経済の減速の影響を受けるとともに、為替も概ね円高水準で推移いたしました。

当社グループの主要市場におきましては、米国市場の需要は比較的堅調でありましたが、欧州の停滞感は長引いており、これまで成長が続いていたアジア市場、中国市場におきましても需要は減退いたしました。このような状況のなかで当社グループは、タイ・シンガポールの海外生産拠点を中心に生産・販売体制の強化や、内製化率向上等による変動費の削減に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比15.7%減の13,812百万円になり、経常損失は133百万円（前年同期は経常損失924百万円）、四半期純損失は287百万円（前年同期は四半期純損失1,024百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,350百万円減少し、26,577百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が1,200百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,521百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,366百万円減少し、18,659百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,196百万円、未払法人税等が141百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して16百万円増加し、7,917百万円となりました。この増加の主な要因は、四半期純損失287百万円により利益剰余金が減少した一方で、円安に伴い為替換算調整勘定が307百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.3%から29.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、米国では財政の崖問題は一旦回避されたものの不安定な状況は継続しており、欧州では債務危機問題の長期化が、アジアなどの新興国経済にも影響を及ぼしております。

一方、わが国の経済動向につきましては、超円高の修正の動きなど若干明るい兆しは見えつつあるものの、民間設備需要に本格回復の動きはまだ見出しづらく、先行きの不透明感を払拭できません。

当社グループを取り巻く環境は引続き厳しい状況ではありますが、通信・エネルギー分野をはじめとして、顧客ニーズに対応する製品開発を急ぐとともに、成長市場を中心に販売活動を強化してまいります。また、内製化の推進による変動費の一層の削減に取り組む等、利益確保に向けた諸施策を実施し、収益性の更なる向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,964	3,118
受取手形及び売掛金	7,554	5,033
商品及び製品	1,225	1,705
仕掛品	3,062	4,032
原材料及び貯蔵品	2,694	2,444
その他	417	440
貸倒引当金	△54	△58
流動資産合計	17,864	16,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,044	3,992
機械装置及び運搬具（純額）	2,892	2,695
その他（純額）	2,076	2,074
有形固定資産合計	9,013	8,762
無形固定資産		
投資その他の資産	123	93
投資有価証券	207	217
その他	737	808
貸倒引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	925	1,003
固定資産合計	10,062	9,859
資産合計	27,927	26,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,487	2,290
短期借入金	10,558	9,657
1年内返済予定の長期借入金	1,306	1,592
未払法人税等	199	57
賞与引当金	166	57
その他	1,124	1,058
流動負債合計	16,842	14,714
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	1,799	2,505
退職給付引当金	1,001	1,002
資産除去債務	79	80
その他	303	256
固定負債合計	3,184	3,945
負債合計	20,026	18,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,293	6,005
自己株式	△1,343	△1,344
株主資本合計	9,830	9,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△3
為替換算調整勘定	△1,927	△1,620
その他の包括利益累計額合計	△1,929	△1,624
純資産合計	7,901	7,917
負債純資産合計	27,927	26,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	16,377	13,812
売上原価	12,977	10,453
売上総利益	3,400	3,358
販売費及び一般管理費	3,694	3,351
営業利益又は営業損失(△)	△294	6
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	11
物品売却益	14	14
為替差益	—	88
その他	29	47
営業外収益合計	53	165
営業外費用		
支払利息	222	218
為替差損	381	—
その他	79	87
営業外費用合計	683	306
経常損失(△)	△924	△133
特別利益		
固定資産売却益	4	4
特別利益合計	4	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△919	△129
法人税等	104	158
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,024	△287
四半期純損失(△)	△1,024	△287

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,024	△287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△1
為替換算調整勘定	△395	307
その他の包括利益合計	△425	305
四半期包括利益	△1,449	17
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,449	17

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。